

Asahi

ASAHI University News Letter

vol.135

September 2021

発行日/隔月1日

編集・発行/朝日大学 総務部



朝日大学HP

オープンキャンパスを開催

高校生や保護者の方々を対象としたオープンキャンパスを、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催しました。

参加者は、模擬授業・実習体験、入試・奨学金説明、キャンパス見学などのプログラムに参加し、大いに「朝日大学」を体感したようです。



本大学職員で元十両の徳真鵬が母校で中学生と腕相撲

オープンキャンパスで朝日大学を体感

模擬授業・キャンパス見学などで1日大学生

法学部、経営学部、保健医療学部のオープンキャンパスが開催（5/23、6/20、7/18、8/8）されました。

高校生や保護者らは、模擬授業・実習体験、入試・奨学金説明、キャンパス見学、個別相談などのプログラムに参加し、「朝日大学」の魅力を体感したようです。

保健医療学部健康スポーツ科学科の実習体験では、測定機器を用いて参加者が体の動きを測定し、運動を科学的な視点で捉えることの大切さを実感しました。



測定機器を用いた実習体験

看護の魅力に触れる

保健医療学部看護学科では、看護の魅力が語られ、教員や学生スタッフと一緒に模擬授業や実習を体験。参加者は看護の基本となる衛生的な手洗いをはじめ各専門領域の看護に触れました。

また、学生生活について質問できる個別相談へも多くの参加者が訪れ、大学での学びについて理解を深めました。



母性と小児看護実習室にて

未来の歯科医師を目指す

歯学部志望者を対象としたオープンキャンパス（6/20、7/25、8/22）では、高校生や保護者らが、本大学の建学の精神や教育方針、歯科医師国家試験への取り組み、入試内容、そして、歯科医師の魅力などの説明に熱心に耳を傾けていました。

高校生たちは、模擬講義を受講後、実習体験に参加し、「歯科医療」の現場を真剣な表情で実体験していました。

未来の歯科医師たちは、朝日大学の歯学教育を体験し、歯科医師をめざす気持ちがより強くなったようです。



「インプラント」を埋めてみよう



楽しく英会話を学べるELS

感染拡大防止策を徹底して開催

2021年度のオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、完全予約制で人数制限を設け実施しました。参加者及び本大学関係者の安全・安心のため、運営に携わる教職員・学生の検温の徹底（開催日の前後各14日間）、校内の清掃と消毒、間隔を空けた対応や着席、参加者の検温、使用講義室の常時換気及び入退室時の手指消毒等を行いました。



感染拡大予防対策を徹底

市民相談室



相談内容

- ▶法律・経営に関すること
- ▶歯や体の健康に関すること

朝日大学では、地域の皆様との交流を深めるとともに、大学で行っている教育や研究の成果を皆様の生活に役立てていただけるよう、市民相談室を開設しています。

それぞれの分野について専門の教員が皆様からのご相談をお受けし、解決に向けてのアドバイスをさせていただきます。

予約制

相談は電話による予約制です / 予約受付時間 / 月～金 9:00～17:00 ± 9:00～13:00

法律・経営
健康相談

TEL 058-329-1199

E-mail : soudan@alice.asahi-u.ac.jp

入試相談

0120-058327

E-mail : nyushi@alice.asahi-u.ac.jp

村上治朗先生の 「顕彰記念碑」建立

創立50周年を迎えた本年、朝日大学病院の前身である医療法人寿康会村上外科病院の創業者・初代病院長で、1973年に村上外科病院を本法人に寄附をされた故村上治朗博士のご功績を振り返り、「地域医療への寄与」の精神を永遠に引き継ぐため、宮田淳理事長による建立趣意書を添えて、7月9日に村上治朗先生のご親族や関係者の皆様をお招きし、村上先生の胸像を同院（岐阜市橋本町）の東館1階エレベータホールに設置しました。

コロナ下で除幕式に参加した約30名の関係者らは、「地域医療への寄与」を誓いました。



宮田淳理事長が挨拶



「顕彰記念碑」除幕式

濃飛倉庫運輸(株)と連携協議会

産学連携活動の継続と発展

2013年9月に締結した「産学連携活動に関する合意覚書」に基づき、濃飛倉庫運輸(株)と本大学の第7回産学連携協議会が4月23日に濃飛ビル(岐阜市)で開催されました。



産学連携協議会の様子

協議会では、2020年度の産学連携活動の実施報告、2021年度の産学連携活動の継続と発展に向けた意見交換が次のとおり行われました。

- ・ 経営学部における特殊講義I(国際流通、通関実務)について
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大時における海外短期研修のあり方について
- ・ 大学院経営学研究科との共同プログラム(物流ネットワークと情報ネットワークの融合)について

協議及び意見交換の結果、双方が有する社会的能力を十分に発揮し、共通の事業目的である幅広い地域社会への貢献に向けて連携活動の継続と発展を確認しました。

栄養サポート商品開発で連携

本大学経営学部で商品開発を学ぶ学生、朝日大学病院(岐阜市橋本町)、(株)鈴木栄光堂(鈴木伝代表取締役CEO 大垣市)は、栄養サポートを目的としたシニア向け菓子の企画開発を協働して行うことで合意し、第1弾プロジェクトをスタートしました。

地域連携プロジェクトがスタート

このプロジェクトは、入院患者が在宅に戻っても、カロリー不足、栄養不足にならないように、普段の食事に簡単に取り入れられる栄養サポート食品が開発できないかという朝日大学病院からの課題について学生が考えるところからスタートしました。

このたび、高齢者向け菓子のデリバリーをはじめとするシニア向け商品に力を入れている(株)鈴木栄光堂様とのコラボレーションにより、第1弾として栄養サポートチョコレートの開発プロジェクトが本格稼働することとなりました。

第1弾のキックオフは、6月22日に穂積キャンパス5号館会議室で行われ、「入院患者の退院後の栄養サポートのためのチョコレート菓子の開発及び販売」について、2022年3月の商品リリースに向けた意見交換を行いました。

学生にとっては、商品のコンセプトづくり、商品設計、パッケージデザイン、プロモーション企画など商品開発全般に関わりながら、実践的に商品開発を学べる大変貴重な機会となりました。



地域連携プロジェクトがスタート



商品開発について意見交換

歯学部 教育懇談会を開催

本大学歯学部の全学生を対象とした「教育懇談会」及び「三者面談」が、7月17・18日に新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Zoomによるライブ配信及びミーティング形式により開催され、教育懇談会は230組、三者面談は91組のご家族が参加されました。

三者面談に参加したご家族からは、「具体的なアドバイスをいただくことができ、今後も我が子を精一杯サポートしていきたい」などの声が聞かれました。

2021年7月17日WEB 録画

2021年度朝日大学歯学部教育懇談会

副学長・歯学部長 田村康夫



「キワニスドール」の寄贈を受ける

国際奉仕団体からの寄贈

大垣キワニスクラブ会長の宇佐美清英様から、5月19日に「キワニスドール」の寄贈を受けました。

「キワニスドール」とは、白無地にポリエステル綿を詰めたかわいらしい手作りの人形です。主に病院で治療を受ける子どもに、医師や看護師が治療の説明をする際に使用、子どもたちは人形に自由に絵を描いたり、治療や手術の真似をすることで不安や恐怖心を和らげる効果があるといわれています。

子どもたちの心理的準備をサポート

本来、「キワニスドール」は、小児科病棟や支援施設に寄贈されるとのことで、今回特別に本大学看護学科の小児看護学領域（渡部真奈美教授）における「プレパレーション」（治療や手術に先立ち心理的準備ができるよう援助すること）の講義及び演習に活用させていただくための寄贈となりました。



宇佐美会長(左)から寄贈を受ける大友学長と渡部教授

ジュニア・ロースクール開講

穂積キャンパス6号館模擬法廷などで、新型コロナウイルス感染防止措置を講じ、中学生を対象とした「第12回岐阜県弁護士会ジュニア・ロースクール」が8月4日に開講されました。

裁判員制度の実施に伴い、一般市民に対する法教育、さらには、若年層に対する学校での法教育の重要性が増しています。

ジュニア・ロースクールは、岐阜県弁護士会、法学部を有する朝日大学、岐阜法教育研究会が連携し、中学生の夏休み体験学習の一つとして毎年開講されています。

模擬法廷で裁判を体験!

模擬法廷に集まった中学生たちは、初めて体験する裁判所(模擬法廷)の様子に少し緊張感でしたが、「裁判って、いったいなんなの?」、「裁判官・検察官・弁護士はいつも何をしているの?」などの疑問を解決しようと熱心に受講していました。



中学生たちが裁判員制度を学ぶ

with coronaの時代と今後の医療経営

FD・SD研修会を開催

穂積キャンパス6号館大講義室において、第59回FD・SD研修会(委員長:森下伊三男副学長)が7月8日に開催され、240名(うちZoomの遠隔受講者80名)の教職員らが受講しました。

本研修会では、本大学客員教授で、中央大学大学院戦略経営研究科教授の真野俊樹先生(医学博士、博士(経済学))をお迎えし、「with coronaの時代と今後の医療経営:医療ITの進歩を踏まえて」をテーマに、コロナ禍における今後の医療経営について貴重な講演をいただきました。

今回の研修会には、朝日大学地域連携講座「医療経営士養成プログラム」の受講生の皆さんも参加、共に、今後の医療経営について学びました。



真野先生が今後の医療経営を語る

保健医療学部でも合同FD研修会

保健医療学部では、看護学科と健康スポーツ科学科合同のFD研修会が開催されました。

6月2日の研修会は、高橋幸平健康スポーツ科学科教授(ぎふ瑞穂スポーツガーデン理事長)が講師を務め、教育研究現場における基本的姿勢である「事実確認と情報共有」について、事例を交えつつ研修が進められました。

また、6月17日には本大学客員教授の福永哲夫先生を講師にお迎えし、先生の専門研究分野のひとつである「スポーツパフォーマンス研究の現状と将来」と題した研修会が開催されました。



教員らが熱心に受講



福永客員教授がパフォーマンスを交え講演

新型コロナワクチン集団接種

岐阜県内の医療系学生を対象にした新型コロナウイルスワクチンの先行接種が6月28～30日に岐阜県産業会館(岐阜市六条南)で実施されました。

この先行接種は、医療機関での実習などを控えた医療系の大学、短大、専門学校が参加し行われたもので、本大学からは約600名の学生が接種を受けました。

岐阜県からの委託を受けて、本大学の医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、教員ら延べ60名が、ワクチン接種を担当しました。

筋肉内注射の実技研修

医療系の学生を対象とした集団接種や、7月2日から行われた朝日大学職域接種(約4,000名)のワクチン接種を担当する本大学所属の歯科医師らは、接種に先立つ6月に穂積キャンパス内の医科歯科医療センターにおいて、塚原隆司健康管理センター長(医師)の直接指導のもと、看護学科所有のシュミレーター等を使用した研修を受講しました。



筋肉内注射の実技研修



穂積キャンパス体育館での職域接種

大学で看護体験

高大連携事業の一環として、7月10日に保健医療学部看護学科で聖マリア女学院高等学校の2年生の生徒約90名が実習を体験しました。

当日は、大学紹介の後、本大学に進学した同校卒業生が、ビデオメッセージで後輩へ大学生活のアドバイスをを行いました。

その後、生徒の皆さんは、各実習室で「創傷措置(傷の消毒)体験」、「療養環境体験」、「身体の中の音を聞いてみよう」、「上手に話を聞いてみよう」を通じて、看護師の魅力と仕事の内容について学びました。

参加者からは「とても素晴らしい職業だと気づいた。医療系の進路も考えてみたい。傷の手当てや包帯の巻き方は学校生活でも活用したい」などの感想が聞かれました。

イブニングセミナーを開講

新たな学修や研修の機会を提供

穂積キャンパス内にある医科歯科医療センター(藤原周センター長)では、新たな学修や研修の機会を提供するため、「朝日大学イブニングセミナー」を開催しました。

イブニングセミナーの名称のお宇野先生が補綴関連検査に基づいた診断を解説り、午後4時40分に開講し、午後6時10分に終了する充実した90分間のセミナーです。

これまでに、

- ・「超高齢化社会における歯科の役割-口腔機能管理をはじめよう 基礎編-」横矢隆二講師:包括支援歯科医療部(5月31日)
- ・「補綴関連検査に基づいた診断」宇野光乗講師:口腔機能修復学講座(6月10日)
- ・「顎機能と咬合の捉え方」松岡力院長:リキデンタルオフィス(7月8日)

がそれぞれ開催され、大学院生、教員、研修歯科医、修練医、歯科衛生士らは、今後の学修、研究や治療に役立てようと熱心に聴講していました。

今後も、定期的に開催される予定です。



中学生財務塾が開講

「瑞穂市と朝日大学の包括連携協定」(2013年12月締結)に基づき実施されている「第6期中学生財務塾(講師:服部哲明教職課程センター長)」が、5月15日に開講しました。

真剣に財務を学ぶ

コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度と同様、遠隔授業形式(Zoom)で行われ、瑞穂市立穂積中学校、同穂積北中学校、同巣南中学校から計14名の中学生が参加。受講生たちは真剣に簿記の基本に取り組んでいます。

また、昨年受講修了証を受けた第5期中学生財務塾の塾生(5名)は、今後「全商実務検定試験3級」や「日商簿記検定試験3級」に挑戦することとなります。



財務塾の受講修了証

地域社会の安全安心

少年補導員に任命

2021年度岐阜県警北方署の「少年補導員」に本大学法学部の教員(宮坂果麻理准教授)と学生8名が任命(委嘱)されました。委嘱を受けた学生は「少年補導員として精一杯頑張りたい」との意気込みを語りました。

少年補導員は、より安全安心な地域社会の実現に向け北方署と連携し活動を行っていくこととなります。

小学校でサイバー講話の講師

自主防犯ボランティア団体『めぐる』のメンバー2名が、6月23日に瑞穂市立西小学校で、児童対象のサイバー防犯教室の講師を務めました。

「サイバー犯罪の被害者にならないために」と題し、岐阜県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課の職員と共に「サイバー犯罪」の概要や注意点について、理解を深めやすいようにクイズ形式で行いました。



小学校でサイバー講話

学生部主催の講話

「熱中症」は身近な問題

6月21日に「熱中症対策講話」が学生部主催の行事として開催され、全クラブの学生や教職員らが受講しました。

本講話は、運動中の「熱中症の危険性」について、学生や教職員が十分認識を高めることを目的に毎年開催されています。また、併せて「救命救急法」も紹介され、不測時の対処方法などを学びました。

自己防衛のための意識高揚を

7月5日に「犯罪に巻き込まれないために」と題し、警視庁のサイト配信で「学生補導講習」が開催されました。

「SNS、DV、ストーカー、アルコール」といったトラブルに本大学学生が巻き込まれないように「各自の自己防衛のための意識高揚」につながる講話が行われ、学生、教職員に対して注意喚起が行われました。

建学の精神と社会生活

フィールドワークを実施

5月28日、本大学看護学科では、「建学の精神と社会生活」の授業(必修)で1年生が、瑞穂市の市役所、総合センター、市民センター、図書館やJR穂積駅を訪問し、フィールドワークを実施しました。

学生たちは、事前にバリアフリーについて学ぶなど準備を整えたうえでフィールドワークに臨みました。

当日は、車椅子とシルバーカーを用いて、視覚や聴覚に障がいがある方々に、公共の施設設備などにどのような工夫や配慮がなされているか、施設の内外で様々な体験することができました。

今回のフィールドワークで考察した内容は、ポスター形式で発表会を開催し、学修成果を確認し合いました。



受付窓口やトイレでの工夫や配慮を確認

難関資格に合格

夢の実現に向け

本大学体育会会計研究部では、難関試験といわれる「第157回日商簿記検定1級試験(合格率7.9%)」と「第201回全国経理教育協会簿記上級試験(合格率14.2%)」に、経営学部学生4名がみごと合格しました。



日商簿記1級、全経簿記上級に合格

また、6月18日には「令和3年公認会計士短答式試験(合格率21.6%)」の合格者が発表され、同学部学生9名の部員が合格しました。合格者は、今後、公認会計士論文式試験に向けて学びを継続することとなります。

本大学では、2012年度から高等学校と大学の7年間で公認会計士試験を含む高度な会計試験に挑戦し合格できるよう支援する会計教育を実施、毎年数多くの学生が目標を達成しています。



公認会計士短答式試験に合格

東京五輪

フェンシング 入賞に貢献

体育会フェンシング部では、OBの田村紀佳選手(2013年度経営学部卒業)は「サーブル個人」では力を発揮できませんでしたが、「サーブル団体女子」でみごと「5位入賞」に貢献しました。一方、辻すみれ選手(法学部4年生)はリザーブ選手登録ではあったものの、「フルレ団体女子」に出場し、過去最高の「6位入賞」に貢献しました。



大友克之学長から辻選手に激励金が手渡される

ホッケー ゆかりの選手出場

また、本大学ゆかりの選手として、ホッケー種目で岐阜朝日クラブほか男女7名の選手が出場、共に一次リーグ敗退となったものの、選手は晴れ舞台で気力あふれるプレーを披露しました。



大友学長を表敬訪問

3年後のパリ五輪を目指すフェンシング、ホッケー、体育会の各クラブ選手たちに今後ご声援をお願いします。

体育会総会を開催

アスリートが集う

6月7日に穂積キャンパス6号館6201講義室での対面及びZoomを併用した体育会総会が開催されました。

2002年10種目でスタートした体育会は、数多くの全日本チャンピオンやオリンピック選手、公認会計士を輩出するなど国内外でめざましい活躍を遂げています。

山本英弘体育会会長は、総会で「新型コロナウイルス感染症予防対策を万全としたうえで、体育会のモットーである文武両道を旨とし、これまでの輝かしい伝統を引き継ぎ、より発展させ朝日大学の名を高めていこう」と熱く語りました。

感染症から学生を守る

また、総会に先立ち、指導者連絡会が5号館513講義室で対面により全ての指導者が参加し開催されました。



山本会長が体育会総会で挨拶

山本会長や都尾元宣学生部長らから「新型コロナウイルス感染症に伴う注意喚起、体育会の運営方針、学生指導の在り方」について解説や説明がありました。



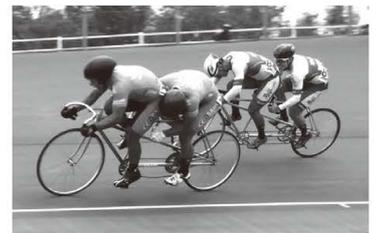
指導者連絡会で講師を務める都尾学生部長

自転車競技

「全日本学生選手権」チャンピオン輩出

ダンデムSPと4kmIPで優勝

体育会自転車競技部は、6月26・27日に倉吉自転車競技場(鳥取県)で行われた「第61回全日本学生選手権トラック競技大会」に出場。ダンデムSPと4kmIPの2種目でみごと学生チャンピオンに輝きました。そのほか、ケイリン準優勝・6位入賞、ポイントレース7位入賞、1kmTT8位入賞の優秀な成績を収めました。



ダンデムスプリント優勝

自転車競技部は、今後長野県松本市で開催される「全日本大学対抗選手権大会」へ出場し、総合入賞をめざすこととなります。

チームロード堂々3位入賞

また、埼玉県加須市利根川上流域で6月5日に行われた「第59回全日本学生選手権チームロード、同個人TTロード」では、チームロードで堂々の3位入賞、個人TTロードでは4位と7位入賞の好成績を収めました。



チームロードの選手

「カンガルー杯2021」をサポート

「カンガルー杯2021」(特別協賛:西濃運輸(株)、(公財)田口福寿会)がコロナ感染予防対策を講じて、(公財)日本テニス協会公認の国内大会として、5月3日~9日に岐阜メモリアルセンターの長良川テニスプラザで開催されました。

厳正な規制のなか大会開催

東京五輪の感染対策検証大会に指定された「カンガルー杯2021」は、選手やスタッフ全員がPCR検査を義務付けられ、厳正な規制下の大会となりました。

本大学体育会硬式庭球部からは、大会進行運営に大森俊和監督(歯学部)、表彰式司会に亀谷みゆき教授(経営学部)、そして同部部員がボーラー、会場管理及び消毒担当に従事。緊張下のなか大会運営をサポートしました。



大会運営をサポートした硬式庭球部

NEWS

「岐阜おみやげ」セイノー商事とコラボ

お土産のコラボ商品開発

(株)セイノー商事(大垣市)と経営学部で商品開発を学ぶ学生による「第6期:コラボ企画商品」開発プロジェクトが行われ、岐阜県名産販売(株)直営店の「岐阜おみやげ 川島店(各務原市)」で「特設販売コーナー」が設置され、「朝日大学学生が考案」とのPOPが掲示された4種のお土産が発売されることとなりました。

お土産は、同社のサポートをいただきながら学生のコンセプトで企画デザインを行い、既存メーカーの商品を組み合わせたオリジナルセット。開発にあたっては、ほぼすべてオンラインで行い、販売メーカーへの取材も電話にて実施。

学生たちは、新しい様式に戸惑いながらも、一連の商品企画、販売促進について実践的に学ぶことができました。

今回のコラボ企画は、セイノーホールディングス(株)(田口義隆代表取締役社長)と朝日大学とが「産学連携活動に関する協定」を締結(2013年2月)し、各種の産学連携活動を進めていく中で、マーケティング分野における連携活動の一環として実施されました。



特設販売コーナーの様子

大学のスポーツ資源を活用

スポーツ庁委託事業で採択

本大学は、5月にスポーツ庁の委託事業「令和3年度大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成・大学アドミニストレーター配置支援事業」に採択されました。

地域スポーツの拠点づくり

本事業によって、体育会各部を横断的かつ統括的に管理する組織の整備やスポーツアドミニストレーターが配置され、学生アスリートの活動を多面的に支援する体制が整うこととなります。

また、(公社)ぎふ瑞穂スポーツガーデンとの連携をさらに深めると共に、本大学が包括連携協定を締結している自治体、スポーツ関係団体、民間企業とのコンソーシアムの形成、大学のスポーツ資源を十分に活用した取組みなどにより、地域スポーツの拠点づくりを推進していきます。

記録的な大雨の
被害に遭われた皆様へ

この度の西日本から東日本にかけて記録的な大雨で被害に遭われた方々に対し、心からお見舞い申し上げます。

学長 大友 克之

元十両力士が講演

大相撲元十両・徳真鵬で本大学事務職員(体育会相撲部コーチ)の白塚元久さんが、母校である三重県松阪市の久保中学校に7月2日「キャリア教育講演会」の講師として招かれました。

白塚さんは母校の生徒679名に対し、「何事も一生懸命やれば夢がかなう。感謝できる人になって」と語りかけました。

講演後には、生徒と相撲をしたり、給食を一緒に食べたりと楽しく交流しました。



元十両の白塚さんが講演

生徒とついでに給食

2年ぶりの朝日祭!!

コロナ禍ならではのイベントを予定

「第50回朝日祭」が新型コロナウイルス感染症対策を講じ開催されます(予定)。

皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

期 日 2021年 10/15(金)・16(土)

催し(予定) ライブコンサート、模擬店、ビンゴ大会、フリーマーケット など



これまでの朝日祭の様子